

かんば

小報・三友会・
発行・島育・
教養部・会報

あいやつ
会長 本田 卷男

心も 体も 強い子
人に めいわくをかけない子
勉強に せいだす子

ぼくは
三小の子だ
どんな苦しい
ことにも
まけはしない

夏空に
すくすく のびる
大木の ように
明日に むかっ
て うんと
がんばるのだ

ぼくは 三小の子なんだ



会長に就任して早三年目を迎えました。過去二年間外から形の上で目立った特筆すべき程のものはありませんが、内容の充実をはかって、地道にこつこつと健全な歩みを続けてきたものと思えます。

力量不足の私を、役員の方々をはじめ、会員の皆様が心からご支援・お励ましくださったおかげにほかなりません。衷心より感謝いたします。

今年度は、若いはずらつとした山本・古川両副会長さんをお迎えした上、育友会専門部組織の中にも、町内推進委員会を設け、全く画期的な育友会活動の分野がひらかれました。

これからの新しい育友会飛躍の出発点にしたいと思えます。

特に子どもの学力の向上をめざし国語を足場として、この三年来努力してまいりました。なかなか目に見えるものではありませんが、全職員スクラムを組んできたつもりです。

昭和四十一年度は、研究発表をすることにしていたところ、思いがけなくも十五名の先生の転任というところで、研究の本に大きなひびがはいったように感じましたが、研究発表が、新入の先生方が、世話あつたが、新入の先生方が、発表会ならやろうということ、十一月中旬に研究発表会をすることにしたのであります。その上、県下で二校の中の一校として、県教育委員会から「自発的な学習意欲をたかめ思考力をのばす指導法」の研究テーマのもとに、学力向上のため研究実験学校の指定を受け、二年連続の研究をすることになり、二重の石を引っぱったかっこうで、四月以来懸命に研究にとりかかっています。新入の先生方は一年半前から研究していることを僅か数ヶ月で追

いつかなければならないのですから並大抵の努力では追いつけません。しかし、おかげでみんながんばってどうやら態勢が整いました。研究発表は学校の名誉は二義的のもので、目的は子どもの力をつけるためのものですから、毎日毎日の授業に力を入れることが一番大切であります。本年研究発表をしたら、その上にさらに努力を積み上げて、来年度も研究発表をすることにしております。学力ばかりでなく精神的な面の教育も、健康面の教育もがんばりたいと思います。と同時に、諸施設の拡充校地の拡張・水泳プールの建設等大きな夢もえがいて、躍進の年だと思いますのであります。

◆ 手をつなぎましょう ◆

副会長 古川 安子

子どもをしつかりした人間に育てようとする熱意が、育友会活動に反映し、関心や期待がたかまり、協力のかたちにあらわれていること、

よろこばしいことと思えます。その反面、学校での教育以前の、基本的な教育の場が、家庭にあることを、ややもすれば忘れられ勝ちな面もみられるように思えます。

私自身も、家庭での子どもの教育には、自信をもってあたらねばと思いつながら、いざ、その場になると、こんな指導でよいのだろうか、何かしら、不安な気持ちがかすめて、はつきりした態度がとれないで、あとで反省することも再三です。

育友会は私たち母親の悩みや問題を点々、お互いに手をとって解決していく、身近で、生きたものでなければならぬと思えます。

輝かしい未来をせおう子どもたちを、学校と親とが一体になって育てていく勉強の場であればならぬと思えます。

その橋渡しの役が、PTAの役員に選ばれたものの勤めでなければならぬと思えますとき、果して私にその勤めが全うできるかどうか全く自信はありません。

この上は、皆様方のご協力とご指導をいただいで、できるだけの努力

をしていきたいと思えますので、どうぞよろしく願います。

各部

だより

生活部

四十一年度の生活部活動内容として次のような計画をたてています。本年度は特に「町内推進委員会」の発足です。

校外での少年団指導の研究をするために町内連絡票などを大いに活用し他町内との連絡を密にし、また企画員を設け、必要に応じ企画員会を開くなどして、なお一層の実践効果をあげることにいたしました。

年間行事としては、先ず

○ 出席率の向上（時間厳守）

○ 家庭会議の促進などです。

その他

○ 町内推進連絡会（代表者会・

全員会）の開催

○ 夏休みの反省会

○ 家庭学習のありかたについての研究会と実践などです。

● 〇 ● 施設委員会

前年度までの施設部の名称を施設委員会と改め、会長・副会長・常任委員（専門部の正副部長はこのなかに含まれている）ならびに専門部より必要に応じて若干名を加えて構成することになりました。

生活部や教養部は常時活動ができませんが、施設関係の仕事はむしろ必要に応じて重点的活動をした方がよい施設の充実をはかることができるという立場をとつたわけです。

本年度の予想される事業については、代議員会やその他の機会にご報告をし皆様のご協力をお願いしてゐる次第です。

早速、六月二十五日には市当局に對して、その実現方を強く陳情いたしました。

なお、プール建設については、先年具体化するまでに至らずに兎島海水浴場の利用におちつきましたが、再びその機運が盛り上がつてきておりますので、ぜひともその実現に努力しなければならぬ課題の一つと

なつております。

● 〇 ● 教養部

（総務班）各班の班長も加わり、教養部の企画・運営。

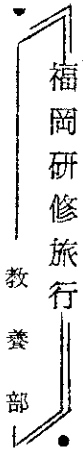
大きな行事の一つ：研修旅行も無事終わる（別項参照）

（学級班）会合の出席率向上実現に一步前進。

（文庫班）一般貸出し、巡回文庫、特に献本運動の推進

（会報班）会報「がんば」の充実と学期二回以上発行

※ 気軽な気持ちで、投稿してください。



福岡研修旅行

教養部

天候に恵まれた中を二台のバスに分乗して一路福岡に向う会員の顔には、小学校時代の修学旅行の思い出がうかがわれ、なごやかなふんいきのうちに目的地につきました。

保健体育を中心にした学校をということで、福岡市内にある室見・平尾小学校が選ばれたわけですが、さ

すかに、その充実した施設と運営ぶりには、会員の皆様に強く印象づけられたようです。

特にプール建設についてはあとの記事にもありますように、三小にもぜひ設けなければならぬという意見が強くなりました。

すでに視察の詳細については、それぞれ町内において、参加された会員の方から、聞かれたことと思ひますので省略いたします。研修旅行そのものについてのご意見は、車中においてもいろいろでございましたが、更に検討を加えてより有意義なものにしなければならぬと思ひます。

▼室見小学校を参観して▲

水江幸徳

歴史の新しい建物、体育館、プールなど、設備の整つた学校。

教頭先生のお話を聞いて、県市当局はいうまでもなく、校区民の熱意理解のあられること本當にうらやましく思ひました。

体育の進んでいる学校にふさわしく、多種多様の体育機械設備、中でも体育の時間は、冬季を除いて全児

児童はだしておこなつてゐるとのことです。

次に、遠足の時の経費は、福岡市の中央部にありながら、弁当以外の果物・菓子代として、五十円以内ということです。

それが、児童全員きちんと守られているそうです。

このことについては、私たちの三小でもすぐ実行していいことではないでしょうか。

その他、学校の隅々まで掃除がいきとどいてよく整理整頓され清潔であることにも感心しました。

交通事故防止のための廊下の交通標識の活用などよく心を配つてあるようにみうけられました。

研修旅行所感

有馬舟津代議員

一 室見小学校のPTA。校区の人々の協力が徹底していること。

一 校区の職業区分がほとんどサラリーマンであつて、財産は「子どもだけ」という考え方にたつてゐる従つて、子どもの教育に対する考え方が、三小地区の場合とだぶ

人差があるように思います。

一 体育の「進歩カード」の利用については、三小でも実行していただきたいものだと考えます。

一 プールの建設については、三小でも万難を排して、ぜひ実現を図らねばならないと思ひました。

一 教室でのグループごとの学習をみました。が、なかなか中に真剣さがみられてよいと思ひました。

一 研修旅行は時間的にもう少し近い所がよいように思ひますが、如何でしょうか。

★ 平尾小学校を視察して

山本 篤五郎

私たちが視察しました平尾小学校は、プールを利用した体育指導により「人づくり」や「しつけ」を行つておられるので有名な学校だということ、主にその面を視察しました

場所は市内の中心部に近く、緑の木立ちなど多い住宅地にあり、昭和十八年の創立で、当時の木造校舎も古く（現在一部建直つています）校庭もせまいところです。

児童は二十五学級、約千名とのこと

父兄は市内の高級勤め人が多く、経済的にも恵まれ、教育にも熱心なので、児童も市内で一、二を争うほど知能が高く、勉強の意欲もあるがその反面、体力や気力に劣り、団体活動を余り好まず、勤労意欲に欠けるということ。そこでその欠点をなおすために、体育指導を強化しようということ。プールを建設し水泳によつて鍛練を行うことになつたのだそうです。

そして、昭和三十八年、総工費約七百五十万円で長さ二十五メートル深さ一メートル、七コースのプールが作られ、それを利用しての体育指導が行われるようになりました。

その結果、ほとんどみんなが泳げるようになったこと、ほかに、ハッキリと体位の向上がみられ、気力の点でも、ねばり・根気のある「たくましい子どもづくり」が実現されてきたということです。

さらに、みんながよくプール使用のエチケットを守るため、本校児童のプールでのけがが全くなかつた、という精神面での著しい向上がみられるとのこと。大いに感心しました。

☆ 発表する」と

☆ いうことは

通知表をみられると、必ずのように、お子さんの「発表」について、担任の先生の意見が記されていることと思えます。

参観日のおりに、ひとことも口を開かないわが子をみてやきもきしたり、「発表はしないけど、成績の方はそう悪くないから」と、自らを慰めたりなどしていられる方はないでしょうか。

なぜ、「発表する」ということが大切なのか、もう一度よく考えてみる必要はないでしょうか。

× × × × × ×

「お宅のお子さんは近ごろよく発表するようになって、成績も人柄もぐんと向上してきましたよ。」

「もつと進んでうまく発表できるようになれば、さらに一段と向上しますかねえ。」

などと、担任の先生からお聞きになったお母さんは、どんなにうれいことでしょうか。

このように、発表の量は、成績や

人柄を左右する大切な一つの力ギになつていきます。

◎ 頭の中で考え、理解できていることを発表することによつて、理解が一段と確かなものになる。

◎ 聞く人にわかりやすく、まとめ発表することによつて、頭脳が強くなったん練される。

◎ 肩の力をとり、姿勢を正し、呼吸を整えて多数の中で発表することは、落着きや勇気がいるもので人格的修練になる。

◎ 発表することは、たとえ発表の内容にまちがいがあつても、多くの人に価値を提供できると共に、互いに批判し、正すことができる自分さえわかつていればよいのだといつたエゴイストにならないためにも。

◎ 発表することは民主主義の根底をなしている。

◎ 以上のことをお母さんがたがよく知つているということは、子どもの指導のうえに重要なことだと考えます。

◎ よそのお子さんに対する負けぬ気から「発表しなさいよ。よく発表する

よ」とただただ激励するだけでは意味がないと思えます。

次に、よい発表の内容(質)とは

発表は考えた結果(答え)をいうことよりも、答えを出すまでの考えの過程(すじ道)を述べることに価値があります。たとえば「Aの事項とBの事項との関係からCのことが考えられました」「AのグラフとBのグラフからCのことが判断されます」といつた形のものです。

ですから、友人の発表に対して、簡単に「ハイ、ソウデス」「チガイマス」といつたいい方にはならないはずで、謙虚に人の発表をきく態度も育つていくものです。

七月五日付朝日新聞記事より
許しを得て転載しました。

× × × × × ×

以上お読みになつて、きつと何かうなづけるものがあると思えます。

どの教科の学習もそうですが、今三小でとつている国語の学習では、特に、話し合い(自分の意見を発表する)が大きな比重をしめております。

親も教師も、さらに指導の手をのばしていかねばならないと思えます



家庭会議を 開きましょう

教養部

いよいよ楽しい夏休みです。子どもたちは、長い四十日間の休みを、どんなふうにくらそうかと、それぞれ胸をふくらませていることでしょう。

育友会で提唱している家庭会議を開く絶好の機会です。

学校からも、夏休みのくらしかたや水泳の注意などの資料が配られていると思います。

それらをもとにして、家族みんなで、じっくり話し合ってください。

そして、元気に、事故もなく、思い出の多い楽しい夏休みにしようではありませんか。

図書館だより

母と子の20分間読書を!

文庫班

今年も教養部文庫班の計画にもとづいて、夏季巡回文庫を開設することになりました。

(詳細は、別紙配布の利用のしおりをごらんください。)

お互いに、忙しい毎日ではありますが、寸暇を利用しての読書の楽しみを味わっていただきたいと思えます

読書感想文を募集します。

今秋おこなわれる、第十二回青少年読書感想文全国コンクールに、参加したいと思えますので、次の課題図書を、夏休みの読書計画の中に入れて、しっかりと読ませてください。

低学年 課題図書

- けんはへつちやら
- ムステイクのぼうけん

中学年 課題図書

- フェーリヤかえっておいで
- みどりのゆび

高学年 課題図書

- まえがみ太郎
- 水つき学校

右の図書は、図書館に全部あります。子どもたちの夏休中の図書館利用については、それぞれ連絡してありますので、課題図書だけでなく、そ

の他の図書も大いに読むように、お母さん方からも、すすめてください。

お礼とお願い

育友会文庫充実のため、文庫班の努力目標の一つとして読本運動をとりあげております。

過日、蛭子鼻の大場勤四郎さんよりその充実費に当ってほしいと、金一封をいただきました。

なお、今までも何人かの会員の方から献本していただいております。紙上をかりてお礼申し上げます。

会員の皆様の中で、すでにお読みになつて、いろいろな本がありましたら、一冊でも二冊でも結構ですからご寄附してくださいますようお願いいたします。

本の種類は別に問いません。

あとがき。 会報班

育友会報 がんば 第四号をお届けします。はじめてのものばかりで思うような編できなかったことをおわびします。